

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場会社名 株式会社SOL Holdings 上場取引所 東
 コード番号 6636 URL http://www.sol-hd.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮嶋 淳
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)中原 麗 (TEL)03-3449-3939
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	984	△10.5	△731	—	△729	—	△744	—
26年3月期第3四半期	1,100	21.5	△457	—	△617	—	△447	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △736百万円(—%) 26年3月期第3四半期 △443百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△64.38	—
26年3月期第3四半期	△62.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,778	2,243	79.8
26年3月期	2,656	2,210	83.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,217百万円 26年3月期 2,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,253	62.2	△351	—	△353	—	△249	—	△21.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	12,566,488株	26年3月期	10,372,410株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	167,490株	26年3月期	167,490株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	11,567,299株	26年3月期3Q	7,125,757株
----------	-------------	----------	------------

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して上記の株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）における世界経済は、中国を中心とした新興国においては経済成長の鈍化傾向が続き、欧州経済においては地政学的リスクに起因する懸念から不透明な状況が続いております。米国においては、雇用環境や個人消費の改善等により堅調に推移しました。

また、当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税率の引き上げに伴う個人消費の低迷などが影響し厳しい状況で推移しました。

当社グループの中核事業領域である半導体業界、電気機器業界においては、国内の業界再編が一巡し、自動車産業向けを中心として需要が回復しつつあり堅調に推移しております。国内半導体設備投資も伸長しており、当社グループを取り巻く環境は改善の傾向が見られます。

そのような経営環境の中で、当社グループは、従来の中核事業領域であるテストソリューション事業（半導体事業）および新たな収益事業領域として位置付けるバイオ燃料事業を展開しております。

テストソリューション事業におきましては、各半導体メーカーは、円安と内需に支えられ回復基調にあります。とりわけ国内半導体復調をけん引しております自動車向け半導体ならびにイメージセンサーは、当社が長年培ってきた技術力を発揮できる分野となります。このような状況の中、当社の開発業務委託およびプラットフォームを生かした製品は、受注および販売共に順調に推移し、緩やかに業績も伸び第2四半期連結会計期間に引き続き当第3四半期連結会計期間も黒字となりました。

バイオ燃料事業では、インドネシアをはじめ東南アジア諸国、メキシコ及びオーストラリアにてスーパーソルガムの種子販売、スーパーソルガムから製造する糖液、家畜用飼料、燃料用ペレット等の販売事業を推進しております。特に東南アジア諸国では、急激な経済発展、人口増加により深刻なエネルギー問題・食料問題を招いており、当社が取り扱うエネルギー作物であるスーパーソルガムは、その成長の早さや収穫量の多さから、当該問題を解決できる可能性がある植物として期待が寄せられております。このような環境下、当第3四半期連結会計期間においては、オーストラリアへのスーパーソルガム種子の販売ライセンス売上47百万円及び種子の販売1億41百万円の売上を計上いたしました。また、タイ、ベトナムにおける種子販売、インドネシアにおける糖液、燃料用ペレット販売等、その他の国々における売上の計上についても、各顧客との最終交渉を進めております。また、種子販売に比べより利益率の高い、糖液、家畜用飼料、燃料用ペレット事業等については、各国パートナー企業との協業による大規模商用化を早急に開始すべく準備を進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9億84百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

損益につきましては、半導体製造事業において、様々な原価低減に取り組むことにより業績が改善したものの、新規事業であるバイオ燃料事業の立ち上げに係る営業費用が影響し、営業損失7億31百万円（前第3四半期連結累計期間は営業損失4億57百万円）、経常損失7億29百万円（前第3四半期連結累計期間は経常損失6億17百万円）及び四半期純損失7億44百万円（前第3四半期連結累計期間は四半期純損失4億47百万円）を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は27億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億21百万円増加いたしました。流動資産は19億94百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億48百万円増加いたしました。主な要因は、前払費用の増加1億18百万円、短期貸付金の増加1億82百万円によるものであります。固定資産は7億83百万円となり前連結会計年度末に比べて27百万円減少いたしました。そのうち、有形固定資産は71百万円となり22百万円増加いたしました。また、無形固定資産は5億84百万円となり1億15百万円減少いたしました。主な要因はのれんの償却による減少93百万円であります。さらに、投資その他の資産は1億26百万円となり66百万円増加いたしました。当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、5億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円増加いたしました。流動負債は3億円となり、前連結会計年度末に比べて1億21百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金の減少1億91百万円であります。固定負債は2億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億10百万円増加いたしました。主な要因は、社債の発行による増加2億円であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は22億43百万円となり、前連結会計年度末と比べ32百万円増加いたしました。これは、主に、資本金及び資本剰余金の増加7億38百万円及び新株予約権発行に伴う増加25百万円と当連結四半期純損失7億44百万円の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.2%から79.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社リニューアブル・エネルギー&バイオは取引が減少したため、第1四半期連結会計期間から連結の範囲の対象外といたしました。また、第2四半期連結会計期間より、SOL ASIA HOLDINGS PTE. LTD. (シンガポール法人、当社完全子会社、以下、「SOL ASIA」という。)を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当社及び国内子会社は、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	156,053	66,107
受取手形及び売掛金	526,809	430,919
商品及び製品	60,635	79,962
仕掛品	52,473	95,645
原材料	11,832	5,916
前渡金	1,066,808	937,887
貸倒引当金	△110,160	-
その他	82,050	378,364
流動資産合計	1,846,503	1,994,803
固定資産		
有形固定資産	49,413	71,721
無形固定資産		
のれん	560,271	466,893
営業権	130,833	108,333
その他	9,731	9,670
無形固定資産合計	700,836	584,897
投資その他の資産		
敷金	52,479	47,113
破産更生債権等	733	110,841
貸倒引当金	△733	△110,841
その他	7,501	79,489
投資その他の資産合計	59,980	126,603
固定資産合計	810,230	783,222
資産合計	2,656,734	2,778,025
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,754	6,675
短期借入金	244,900	53,500
未払金	82,537	109,176
未払法人税等	9,053	19,507
受注損失引当金	7,673	11,185
賞与引当金	12,000	34,184
その他	55,114	66,309
流動負債合計	422,033	300,538
固定負債		
社債	-	200,000
資産除去債務	7,275	9,581
その他	16,590	24,594
固定負債合計	23,865	234,176
負債合計	445,898	534,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,337,277	1,706,710
資本剰余金	1,287,163	1,656,596
利益剰余金	△332,582	△1,073,230
自己株式	△82,980	△82,980

株主資本合計	2,208,878	2,207,095
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,956	10,493
その他の包括利益累計額合計	1,956	10,493
新株予約権	—	25,721
純資産合計	2,210,835	2,243,311
負債純資産合計	2,656,734	2,778,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,100,527	984,744
売上原価	865,396	715,880
売上総利益	235,131	268,864
販売費及び一般管理費	692,315	1,000,517
営業損失(△)	△457,184	△731,652
営業外収益		
受取利息	913	1,258
受取手数料	1,625	2,365
労働保険料還付金	1,143	-
債権譲渡益	-	5,083
雑収入	814	7,297
営業外収益合計	4,496	16,004
営業外費用		
支払利息	5,101	1,194
株式交付費	101,744	2,465
持分法による投資損失	54,150	-
その他	3,783	10,021
営業外費用合計	164,780	13,680
経常損失(△)	△617,468	△729,328
特別利益		
固定資産売却益	100	64
関係会社株式売却益	158,554	-
持分変動利益	23,583	-
特別利益合計	182,238	64
特別損失		
固定資産除売却損	392	1,348
減損損失	5,821	2,213
特別退職金	1,200	-
特別損失合計	7,413	3,561
税金等調整前四半期純損失(△)	△442,643	△732,825
法人税、住民税及び事業税	4,667	11,090
法人税等調整額	63	797
法人税等合計	4,730	11,888
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△447,374	△744,713
少数株主利益	△152	-
四半期純損失(△)	△447,222	△744,713

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△447,374	△744,713
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,668	8,536
持分法適用会社に対する持分相当額	1,890	-
その他の包括利益合計	3,559	8,536
四半期包括利益	△443,815	△736,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△443,663	△736,176
少数株主に係る四半期包括利益	△152	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、有限会社佐藤総合企画より、平成26年4月28日を払込期限とする第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が1億18百万円、資本準備金が1億18百万円増加しております。また、平成26年9月9日付けで、株式会社リアルビジョンを割当先とする現物出資(デット・エクイティ・スワップ)による第三者割当増資を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が49百万円、資本準備金が49百万円増加しております。ほか、当第3四半期連結累計期間における新株予約権の行使により、資本金2億1百万円、資本準備金が2億1百万円増加しております。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が3億69百万円増加し、資本剰余金が3億69百万円増加しております。なお、当第3四半期連結会計期間末においては資本金が17億6百万円、資本剰余金が16億56百万円となっております。

(重要な後発事象)

一. 訴訟

当社は、株式会社アンビシャスグループから損害賠償請求を東京地方裁判所に提訴され、平成26年11月26日、同訴訟は認定され、現在係争中であります。

当社としては、正当な論拠を主張し、訴えが取り下げられるか、または勝訴すると判断しております。

二. 簡易株式交換

当社は、平成27年1月20日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社、ウエディングドリーマーズ株式会社（東京都港区 代表取締役：佐々木 義夫 以下、「ウエディングドリーマーズ」といいます。）を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付でウエディングドリーマーズと株式交換契約（以下「本株式交換契約」といいます。）を締結いたしました。

本株式交換については、当社については、会社法第 796 条第 3 項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより当社の株主総会による承認を受けずに、ウエディングドリーマーズについては、平成27年1月21日に開催予定のウエディングドリーマーズの臨時株主総会において本株式交換契約の承認を受けた上で、平成27年2月10日を効力発生日として行う予定です。

I. 簡易株式交換について

1. 本株式交換の理由及び目的

ウエディングドリーマーズは、飲食店の直営店舗運営事業、フランチャイズ営業、婚礼に関連する商品の販売業、結婚式や結婚披露宴に関する運営事業を主たる事業とする会社です。ウエディングドリーマーズは休眠会社でしたが、同社の完全親会社である株式会社アミーズキッチン（以下「アミーズキッチン」といいます。）との間で、平成27年1月20日付で、アミーズキッチンが営む飲食店の直営店舗運営事業、フランチャイズ事業及び結婚式・婚約披露宴運営事業を譲り受ける旨の事業譲渡契約（以下「本事業譲渡契約」といい、本事業譲渡契約に基づく事業譲渡を「本事業譲渡」といいます。なお、本事業譲渡の効力発生日は、平成27年2月1日です。）を締結しました。

アミーズキッチンからウエディングドリーマーズへの事業譲渡の概要

事業譲渡部門（本事業譲渡の対象となる事業部門をいう。以下同じ。）	飲食店の直営店舗運営事業、フランチャイズ事業及び結婚式・婚約披露宴運営事業	
事業譲渡部門 平成26年11月期 売上高（千円）	836,161	
事業譲渡部門 平成26年11月期 経常利益（千円）	△28,158	
事業譲渡部門に係る 資産の額（単位：千円）	店舗材料 店舗設備 敷金	8,799 81,571 113,455
事業譲渡部門に係る 負債の額（単位：千円）	預り保証金	1,000
本事業譲渡に係る譲渡価額（単位：千円）	95,000	
本事業譲渡に係る譲渡価額の決済方法	別途協議の上決定	
事業譲渡日	平成27年2月1日	

(注) アミーズキッチンからウエディングドリーマーズへ譲渡される事業につきましては、イタリアンレストラン 6店舗（直営店5店、FC店1店）、レストラン1店舗（業務受託）、ナチュラルダイエットレストラン 2店舗（直営1店、FC1店）、ウエディング事業1店舗（業務受託）、合計10店舗となります。

2. 本株式交換の要旨

(1) 本株式交換の日程

取締役会決議日 (当社・ウエディングドリーマーズ)	平成27年1月20日
本株式交換契約締結日 (当社・ウエディングドリーマーズ)	平成27年1月20日
本事業譲渡契約締結日 (ウエディングドリーマーズ・アミーズキッチン)	平成27年1月20日
本事業譲渡契約承認に係る株主総会決議 (アミーズキッチン)	平成27年1月21日
事業譲渡の効力発生日	平成27年2月1日
本株式交換契約承認に係る株主総会決議 (ウエディングドリーマーズ)	平成27年1月21日
株式交換の効力発生日	平成27年2月10日(予定)

- (注) 1. 当社は、会社法第 796 条 3 項の規定に基づき、株主総会の承認を必要としない簡易株式交換の手続により本株式交換を行う予定です。
- (注) 2. ウエディングドリーマーズは、平成27年1月21日に、会社法第319条第1項に基づく書面決議の方法により、本株式交換契約について株主総会の承認を受けております。
- (注) 3. 本株式交換は、本事業譲渡の効力が平成27年2月1日に発生すること及びウエディングドリーマーズの株主総会決議により本株式交換契約が承認されることを条件としてその効力が発生します。
- (注) 4. 上記日程は、本株式交換に係る手続き進行上の必要性その他の事由によって必要となる場合には、両社の合意により変更されることがあります。

(2) 本株式交換の方法

当社を株式交換完全親会社、ウエディングドリーマーズを株式交換完全子会社とする株式交換であります。本株式交換は、当社については会社法796条第3項に定める簡易株式交換の手続きにより当社の株主総会の決議による承認を受けずに、ウエディングドリーマーズについては平成27年1月21日に開催のウエディングドリーマーズの臨時株主総会において本株式交換契約の承認を受けた上で、平成27年2月10日を効力発生日として行います。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

会社名	株式会社SOL Holdings (株式交換完全親会社)	ウエディングドリーマーズ株式会社 (株式交換完全子会社)
株式交換に係る割当ての内容	1	11,210
株式交換により発行する新株式数	普通株式：2,017,800株	

- (注) 1. 株式の割当比率
ウエディングドリーマーズ株式1株に対して、当社株式11,210株を割当交付いたします。
- (注) 2. 本株式交換により発行する当社の新株式数
普通株式：2,017,800株（本株式交換にあたり、当社の自己株式の交付は行わない予定です。）
なお、ウエディングドリーマーズは、自己株式を保有していません。
- (注) 3. 1株に満たない端数の処理
本株式交換により交付する株式の数に1株に満たない端数が生じた場合、当社は会社法第234条の規定に基づく処理を行います。

(4) 本株式交換に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

ウエディングドリーマーズは、新株予約権及び新株予約権付社債をいずれも発行していません。

3. 株式交換当事会社の概要

	株式交換完全親会社			株式交換完全子会社		
(1) 名称	株式会社SOL Holdings			ウエディングドリーマーズ株式会社		
(2) 所在地	東京都品川区北品川五丁目9番15号			東京都港区六本木四丁目8番7号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 宮嶋 淳			代表取締役 佐々木 義夫		
(4) 事業内容	・子会社管理			・結婚式・結婚披露宴に関する助言 ・婚礼・宴会に関わるプロデュース ・飲食店の直営店及びフランチャイズ店の営業並びに販売		
(5) 資本金	1,756百万円			9百万円		
(6) 設立年月日	昭和45年12月4日			平成21年9月1日		
(7) 発行済株式数	12,841,212株			180株		
(8) 決算期	3月			11月		
(9) 従業員数	単体7名 連結146名			95人(本事業譲渡後)		
(10) 主要取引先	—			—		
(11) 主要取引銀行	みずほ銀行			—		
(12) 大株主及び持分比率 (株式交換完全親会社： 平成26年9月30日現在) (株式交換完全子会社： 平成26年12月25日現在)	有限会社佐藤総合企画 13.83% MAYBANK KIM ENG SEC PTE 10.00% 日本証券金融株式会社 4.30%			株式会社アミーズキッチン 100%		
(13) 当事会社間の関係	資本関係			該当事項はありません。		
	人的取引			該当事項はありません。		
	取引関係			該当事項はありません。		
	関連当事者への該当状況			該当事項はありません。		
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態						
	株式会社SOL Holdings (連結)			ウエディングドリーマーズ株式会社		
	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成24年 11月期	平成25年 11月期	平成26年 11月期
純資産(千円)	1,093,883	662,009	2,210,835	0	0	0
総資産(千円)	1,220,747	1,371,596	2,656,734	0	0	0
1株当たり純資産 (円)	3,808	210	217	0	0	0

売上高 (千円)	1,525,139	1,321,272	1,389,094	0	0	0
営業利益 (千円)	△89,016	△541,664	△737,688	0	0	0
経常利益 (千円)	△84,557	△565,618	△1,008,681	0	0	0
当期純利益 (千円)	△295,658	△454,939	△253,206	0	0	0
1株当たり当期純利益 (円)	△1,029	△153	△32	0	0	0
1株当たり配当金	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 当社資本金、発行済株式数につきましては、平成27年2月9日現在のものです。

(注) 2. ウエディングドリーマーズは、平成23年12月～平成27年1月20日現在まで休眠会社でありましたが、同社の完全親会社であるアミーズキッチンから、平成27年2月1日付でアミーズキッチンが営む飲食店の直営店舗運営事業、フランチャイズ事業及び結婚式・婚約披露宴運営事業を譲り受けました。

(注) 3. 本事業譲渡によりウエディングドリーマーズがアミーズキッチンから譲り受ける事業部門に係る、平成26年11月期の経営成績及び財政状態は、以下の通りです。

売上高 (千円)	836,161
営業利益 (千円)	△28,158
経常利益 (千円)	△28,158
資産 (千円)	203,826
負債 (千円)	1,000

4. 株式交換後の状況

	株式交換完全親会社
(1) 名称	株式会社SOL Holdings
(2) 所在地	東京都品川区北品川五丁目9番15号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 宮嶋 淳
(4) 事業内容	子会社管理
(5) 資本金	現時点では確定しておりません。
(6) 決算期	3月31日
(7) 純資産	現時点では確定しておりません。
(8) 総資産	現時点では確定しておりません。

5. 会計処理の概要

本株式交換は、「企業結合に関する会計基準」における取得の会計処理を適用する見込みです。なお、本株式交換により発生するのれんの金額に関しては、現時点では未定であります。

6. 今後の見通し

本株式交換による連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、適正かつ合理的な数値の算出が可能になりました段階で公表いたします。

II. 主要株主の異動について

1. 異動が生じることとなった経緯

本株式交換の実施に伴い、アミーズキッチンが当社普通株式2,017,800株を取得することにより、当社の主要株主に異動が生じることとなりました。

2. 異動の概要

新たに主要株主となる株主の概要

① 所在地	東京都港区六本木四丁目8番7号
② 商号	株式会社アミーズキッチン
③ 代表者	代表取締役 岡崎 幹男
④ 事業内容	レストラン経営
⑤ 資本金	2,500万円

(注) 事業内容は、本事業譲渡後の内容を記載しております。

3. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数（所有株式数）及び総株主の議決権の数に対する割合
株式会社アミーズキッチン

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合	大株主順位
異動前 (平成27年2月9日現在)	—	—	—
異動後	20,178個 (2,017,800株)	13.73%	1位

(注) 1. 議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 167,490株
平成27年2月9日現在の発行済株式総数 12,841,212株

(注) 2. 大株主順位につきましては、平成26年9月30日現在の株主名簿をもとに、当社が把握する最新の情報を加味し、現時点において想定した順位を記載しております。

(注) 3. 総株主の議決権の数に対する割合は、小数点以下第三位を四捨五入しております。

4. 異動予定年月日

平成27年2月10日

5. 今後の見通し

当社は、アミーズキッチンの当社株式の保有方針について当社の経営に介入する意向はなく、株価動向、市場動向を見極めつつ売却する可能性がある旨を、アミーズキッチンから口頭にて確認しております。また、アミーズキッチンが短期間による売却を行う場合においては、市場に与える影響を十分に考慮しながら売却する意向を確認しております。